

施設名称

愛媛大学医学部附属病院

施設において移植可能な臓器



病院の特徴

- 対象原疾患 非代償性肝硬変、肝細胞がん、急性肝不全、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎、胆道閉鎖症、先天性代謝異常症、バッドキアリ症候群、多発肝嚢胞など（日本肝臓学会対象疾患に準ずる）
- 昨年度の生体移植数 1件
- 移植担当医師（代表医師：榎田 祐三 教授）
- 移植認定医数 3名
- 認定レシピエント移植コーディネーター 2名
- 移植実施施設としての特徴：四国で唯一の脳死肝移植実施施設として、小児から高齢者の幅広い年齢層を対象に、肝移植に取り組んでいます。2001年より肝移植を開始し、これまでに肝臓移植の症例数は100例を超え、脳死肝移植11例を行っています。チームの力で患者さん一人ひとりをサポートします。

待機患者数 (作成日現在)

2人
(成人 2人 小児 0人)

Status II MELD 25点以上 0人
MELD19点以上 0人

死体移植実施数 (過去3年間)

0件 (2022年)
うち肝腎同時移植 0件
2件 (2023年)
うち肝腎同時移植 1件
1件 (2024年)
うち肝腎同時移植 0件

お問い合わせ先

愛媛大学医学部附属病院
総合診療サポートセンター
(担当) 吉田紀子、坂本ゆり

電話：089-964-5111 (代)
肝胆膵・乳腺外科学HP：
<https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/surgery1/>